

令和2年度 事業計画

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

1 森林保全のための人材育成活動

(1) 奨学金支給

アセアン地域の森林・林業木材産業の将来を担う「人づくり事業」として、平成11年度から、インドネシア6大学の林学部学生（4年生）を対象に奨学金を交付しています。今年度においても次のとおり奨学金を支給します。

〔対象大学〕 Bogor Agric. Univ. (ボゴール農科大学)、Gajahmada Univ. (ガジャマタ大学)、
Mulawarman Univ. (ムラワルマン大学)、Tanjungpura Univ. (タンジュンプラ大学)、
Hasanudin Univ. (ハサヌディン大学)、Papua Univ. (パプア州立大学)

〔選考方法〕 各大学で奨学生を募集し、審査のうえ決定

〔支給期間〕 新学期開始の9月から翌年の8月まで（12カ月）を支給期間

〔支給金額〕 33,750円/人、80人

(2) 研究費助成

アセアン地域の森林資源の有効活用を推進するため、インドネシアの上記6大学の林学部教官を対象に、「木材加工等」の研究課題で公募し、研究費を助成しています。

今年度においても1件を審査委員会で審査し助成します。

2 木材加工技術の調査研究

我が国と諸外国との民間林業技術協力の推進及び調査研究の推進の観点から、国産材及び海外植林木等の木材加工利用と合板の製造技術を習得するため行う調査研究事業に対して支援しています。

(1) 木材加工技術調査事業

今年度においては、島根県と鳥取県の合板会社の若手技術者が東南アジア諸国を訪問し、現場工場を視察するとともに意見交換を行うなど技術交流事業が計画されていますのでこれを支援します。

3 森林育成のための啓発活動

木材を使うことは、森林の整備に貢献するだけではなく、地球温暖化の防止や大気・水・土壌などの環境の維持に貢献しますが、近年は、環境や健康に関心があっても、木材に触れる機会が減少していることから、木材を使う意義についての認識が低い状況にあります。

このため、市民や児童の皆さんが木材に対する親しみや木の文化への理解を深めるため、材料としての木材の良さやその利用の意義を学ぶための「木育」活動の推進を図ります。

(1) 山下名誉教授が指導する「木育」事業への支援

木育活動の第一人者である山下晃功・島根大学名誉教授が指導する次の事業を支援し木育活動の推進を図ります。

① 「第18回島根県中学校ものづくり競技大会」への支援

8月に、松江市で開催予定の「第18回島根県中学生ものづくり競技大会」の開催経費の一部を支援するとともに、木工チャレンジコンテストの部において、田部謝恩財団・特別賞を設け表彰を行います。

② 「第21回全国中学生創造ものづくり教育フェア」への支援

令和3年1月に東京で開催予定の「第210回全国中学生創造ものづくり教育フェア（木工チャレンジコンテスト部門）」の開催経費の一部を支援するとともに、田部謝恩財団・特別賞を設け表彰します。

③ 島根県内の教育保育施設、指導者養成施設での木育啓発事業の推進

教育保育施設、指導者養成施設等において、木育のシンボルキャラクターの等身大ロボ木一、木育絵本、紙芝居、歌とアニメーションによるDVD教材を贈呈し、ロボ木一教室やヒノキ箸づくり教室などを実施します。

④ 島根大学及び附属義務教育学校、附属幼稚園での木育活動のための材料費等の支援

島根大学での教養教育としての木工実習授業や、社会人対象の公開講座、附属義務教育学校での木工関連授業、造形クラブなどで使用する針葉樹合板等を購入して配布します。

⑤ 島根県内幼保園での就学前教育としての木育教育普のため教員・指導者育成への支援

島根大学附属幼稚園が、全国初の就学前教育の先進園としてスタートしました。こうした取り組みを幅広く普及させるため、幼児教育保育関係者のための研修会開催経費の一部を支援します。

⑥ 中学校教育への「合板DL材」を活用した木育学習のための教材作成、教員研修への支援

島根大学附属義務教育学校と島根県技術・家庭科研究会等との連携した木育教材（「合板DL材」）普及のための教材資料作成や教員研修会開催のための経費の一部を支援します。

（参考）「合板DL材」とは、山下名誉教授が発案した「合板を、木口断面のタテの寸法を1として、幅を1倍、2倍、3倍…10倍の各サイズに短冊状に切断した部材」。接着剤やくぎ打ちするだけで、テーブル、イスなどを短時間で安く製作可能

⑦ 出雲科学館での木育普及啓発事業の推進

出雲科学館で開催される各種木育関連教室、木のおもちゃ製作教室、木育ひろばや、木育インストラクター養成講座経費の一部を支援して木育活動の推進を図ります。

(2) 木育推進のためのテレビ番組の制作・放映

木育活動の普及推進を図るため、令和2年度に各地で取り組まれた様々な木育活動を題材とした特別番組を制作し放映します。

(3) 「山のおかげSUMMER 2020 in 吉田」への支援

(株)田部は、今年度においても祝日・山の日（8月11日）に、地球環境を守る森林の価値を再認識してもらうとともに、社会貢献の一環として「山のおかげSUMMER 2020 in 吉田」を実施予定であり、その経費の一部を助成します。

4 広報事業費

(1) 広報事業費

財団が行う各種活動を広く理解していただくとともに普及を図るため、財団ホームページにおいて情報発信を図ります。